

グリーン・ アルファ

財団法人 さいたま緑のトラスト協会

〒330-9301

さいたま市浦和高砂3-15-1

埼玉県環境部みどり自然課内

電話 048(824)3661

会費年額

個人	大人	1人	1,500円
	小・中・高校生	1人	1,000円
家族		1家族	3,000円
グループ(5人以上)		1人	1,000円
法人		1口	10,000円



4月・ウバユリ保護の垣根もできて

明るくなった3号地

四年前から「嵐山里山大学」というグループで、植物たちの「生まれ、育ち、暮らし」について学んできました。故あってこの会は解散となり、メンバーが自主的に「比企里やまの会」さいたま緑のトラスト協会・ボランティアスタッフ第3号地(嵐山)支部」に再結集しました。嵐山渓谷周辺樹林地をヒールドに自然観察と保全・管理に両面作戦運動に取り組んでいます。どういつ訳か支部長に祭り上げられ2年目を迎えています。トラスト地は13・5畝の広さを持ち、主として雑木林です。

このところ、灌木が自生している「ヤマツツジ」に光をあててやるために、シラカシ、アラカシ、ヒサカキ、スギ、ヒノキ等常緑樹を伐採する作業が続いています。今年2月、アズマネザサを主とした林床の下刈りでは、ヤブツバキ、ヤマブキ、ニワトコ、カンアオイなど自生植物を注意深く残しました。また、スミナガシ、アオバセセリの食樹であるアワブキにも目をかけています。このような作業が進むことで、「槻川の流れの美しさを落葉樹の樹間にかいま見ることができると驚沢」を味わえるところになりつつあります。

マウンテンバイクの山道荒らし、希少動物の盗掘などの悩み事も多いのですが、大切な緑のトラスト地「緑の財産」を次世代に引き継ぐために、17人の仲間と月2回・基本定例会(自然観察会)第1日曜日、保全・管理(第3木曜日)として、明るく楽しい汗をかきながら、カタツムリの歩みを続けているところです。

(3号地支部長・飯野幹雄)



「緑の十円玉募金2005」
「企業募金」が始まります

県内の優れた自然や歴史的環境等を保全するため、毎年実施している「緑の十円玉募金」が七月一日（金）から始まります。また、九月からは、企業募金キャンペーンもスタートします。

皆様の貴重な寄付金で、トラスト保全地も七か所・約三十三・五ヘクタールまでに増えました。

今年も、小中高校をはじめ、県民の皆様や企業の方々の暖かいご支援、ご協力をお願いいたします。募金にご協力いただいた方には、お礼の八ガキ、協力証書等を贈呈させていただきます。



平成十六年度決算及び
十七年度予算がまとまる

去る三月三十日（水）及び五月二十日（金）、協会の理事会が開かれ、平成十六年度の決算及び平成十七年度の事業・予算が承認されました。

平成16年度収支決算 (単位：円)

収入の部		支出の部	
基本財産運用収入	4,411	管理費	14,674,980
会費収入	1,882,000	募金活動事業費	5,353,793
補助金収入	17,826,000	保全地管理事業費	9,557,334
委託料収入	13,713,000	普及啓発活動事業費	2,054,651
寄付金収入	11,000	調査研究事業費	65,954
雑収入	35,163	ボランティア活動事業費	80,496
前期繰越収支差額	9,540,626	次期繰越金支出	11,224,992
収入合計	43,012,200	支出合計	43,012,200

は、県からの委託事業であるトラスト基金への募金活動とトラスト地の保全管理をはじめ、自然に親しむ会の開催、写真コンクール及びボランティア活動事業などですが、十七年度は、新規に緑地管理機構として市民緑地の管理を行う事業の広報が加わりました。

今後は、ボランティア研修の実施により、ボランティアスタッフの増員、充実強化を進め、事業の活発化をとおして、会員の増強を図り、協会自立の実現を目指して参ります。



トラスト八号地の取得に向けた
県の取組（報告）

県では、当協会のトラスト八号地の提言を受け、県民投票の実施（はがき、インターネット、寄付申込書による）やトラスト候補地を巡るバスツアー（七月二十八日（木））を行うなど緑の保全を推進しています。

さいたま緑のトラスト基金造成状況 単位：円

区分		平成16年度	累計 (昭和60年度～平成16年度)
積立	募金箱等一般募金	4,211,965	206,914,550
	十円玉募金	1,680,899	103,423,913
	企業募金	21,719,316	1,006,539,176
	小計	27,612,180	1,316,877,639
使用	県積立金	2,552,562	2,943,000,000
	利子	2,552,562	835,459,936
	総計	30,164,742	5,095,337,575
基金	保全地取得	33,392,900	2,921,505,147
	保全地管理等	31,539,000	261,410,711
	合計	64,931,900	3,182,915,858
基金残高			1,912,421,717

皆さんも、振るって投票をされるとともに、バスツアーに参加し、トラスト運動を盛り上



タケノコ掘りに注目する子供たち！

当日は、一号地支部のボランティアスタッフの案内で、毎月保全活動をしているトラスト地内の植物や鳥などの紹介をはじめ、斜面の利活用に関する歴史の説明もあり、参加者は熱心に耳を傾けていました。

会員（今川和二さん）の提供してくれた竹とんぼ等の手作り竹細工や、自分で採った新鮮なタケノコとカブトムシの幼虫をお土産に持ち帰り、会話も弾んだのではないのでしょうか。



自然に親しむ会
「トラスト一号地（見沼田圃周辺斜面林）での竹林整備と自然観察会」（報告）

四月二十九日（金・みどりの日）、トラスト一号地を舞台に、四十三人が参加し、タケノコ掘りと自然観察会が行われました。

皆さん、彩の国だより七月号をご覧ください。（詳細は、彩の国だより七月号をご覧ください。）

トラスト第八号地の取得は県民に多くの関心をもたれています。それに伴い協会も期待されています。皆さんの協力を、よろしくお願います。



ボランティアスタッフ研修
「東京大学秩父演習林を訪ねる」(報告)

五月二十一日(土)、東京大学秩父演習林を会場にボランティアスタッフ三十三人が参加し、自然観察研修が行われました。



これから現地の自然観察会です

当日は、天候にも恵まれ、新緑の秩父原生林を満喫しながらの自然観察でした。

案内は、東京大学大学院新領域創世科学研究科博士課程一回生・石井秀樹氏でした。森林の役割の変遷、公益的機能について認識を新たにしました。また、里山とは異なる植物の美しい花が咲いていました。各支部の情報交換により交流が深まり支部間の協力体制が進むことを期待します。



自然に親しむ会
「トラスト四号地(飯能河原周辺河岸緑地)と天覧山・多峯主を歩く」(報告)

五月二十二日(日)、トラスト四号地と天覧山・多峯主山をハイキングしながらの自然観察を天覧山・多峯主山を守る会と共催で、



熱心に説明を聞く参加者

二十七人の参加を得て実施されました。

古橋講師(自然観察指導員)及びボランティアスタッフの豊富な知識で充実した自然観察ができました。



トラスト二号地(狭山丘陵・雑魚入樹林地)周辺の一斉清掃(報告)

毎年恒例となっているトラスト二号地と周辺の一斉清掃が、五月二十九日(日)に地元堀口自治会(中村喜豆会長)の皆さんを中心にトラスト協会ボランティアスタッフ、県、



堀口自治会の皆さんです

所沢市職員、東京都水道局など約九十人の参加を得て実施されました。

初夏を感じさせる天候でしたが、参加された皆さんは汗を流しながら熱心に清掃活動に取り組んでくださいました。本当にありがとうございました。また、引

き続いて、他の支部からの応援も受け、トラスト地内への案内板の設置、柵の補修や下草の刈り払いも実施されました。

トラスト六号地(加治丘陵・唐沢流域樹林地)ボランティアスタッフの支部が結成されました。

入間市の農村改善センターで、新規の登録者が集まり、十四人で六号地支部を結成し、正副支部長を選任しました。



みんなで楽しい看板設置です(6/19)

入間市、県どり自然課、一号地正副支部長、五号地支部長、前事務局長で七号地のボランティアスタッフも同席し、激励をしました。これからの、活動を期待します。

イベントのお知らせ

参加を希望される方は、電話で協会事務局(電話〇四八八二四三三六六一)までお申し込み下さい。

オオムラサキの自然観察会

NPO法人自然の会・オオムラサキの観察会に協賛。

日時 平成十七年七月二十四日(日) 午前十時から午後二時(小雨決行)

観察地 チョウの里公園周辺
 集合 東武東上線「武蔵嵐山駅」改札前
 午前九時集合

あるいは、オオムラサキの森活動センター

持ち物 飲み物、昼食、雨具

「第七回さいたま緑のトラスト写真コンクール」について

今年も、県との共催で別掲のとおり実施します。多くの皆様のご応募をお待ちしております。

応募要領

作品テーマ
 さいたま緑のトラスト保全地を対象とした、自然環境、自然とのふれあい、保全管理活動など。
 募集期間
 平成17年8月1日～平成17年12月16日(必着)
 作品規格等
 ・キャビネ判カラー写真(デジタルカメラの撮影も可)とし、応募は一人四点以内、未発表のもので、合成写真、組写真は不可。
 ・トラスト保全地を対象とした作品。
 ・写真の裏面に、氏名、年齢、職業、住所、電話番号、作品名、撮影日時、撮影場所を明記した応募票を貼ること。
 審査発表
 入賞作品の発表は、平成18年1月中旬に応募者全員に通知。
 表彰
 入賞者には、賞状及び記念品を贈呈します。作品の送付先及びお問い合わせ先
 〒330 9301 さいたま市浦和区高砂3 15 1
 埼玉環境部みどり自然課(緑地保全担当)
 048 830 3147
 (財)さいたま緑のトラスト協会
 048 824 3661

さいたま緑のトラスト基金への大口寄付者の皆様(十万円以上)
 (平成十七年三月～五月)

【企業・団体】(社)埼玉建設業協会(さいたま市南区)、(社)埼玉県猟友会(さいたま市浦和区)、(株)埼玉りそな銀行(さいたま市浦和区)、(株)武蔵野銀行(さいたま市大宮区)、(社)春日部法人会(春日部市)、りそなカード(株)(東京都中央区)、埼玉県電気工事工業組合(さいたま市北区)、彩の国古本まつり実行委員会(所沢市)、リサイクル運動市民の会(埼玉本部)さい

たま市浦和区)、関口工業グループ(清和会志木市)、トヨタ部品埼玉共販(さいたま市北区)、(株)東京設計事務所(東京都千代田区)、(社)埼玉県LPガス協会(さいたま市浦和区)

【個人】島村治作(川島町)、掛川繁(さいたま市北区) [順不同、敬称略]

大変ありがとうございました。

新しく会員になられた方々

(平成十七年三月～五月)

【法人会員】アサヒ印刷(株)、(株)むさしビルクリナー

【永年会員】針山 崇、小林文武、上岡悦子、石川清次

【個人会員】曾山友滋、三井忠義、田中 寿、飯島正美、安部勝己、荒木佳博、成宮和佳、栗子光雄、金子章一、船崎恵美、埜口幸弘、大島美枝子、矢吹喜美代、吉澤利文 [順不同、敬称略]

役員交代のお知らせ

平成十七年度の(財)さいたま緑のトラスト協会の役員交代が、次のとおりありましたので、紹介します。旧役員には今までのご尽力に感謝し、新役員にはご指導をお願いします。

新役員

飯島正美 常務理事、鹿兒島金衛 評議員、船津鴻太 評議員

旧役員

今井栄一 常務理事、金子美智雄 評議員、藤野清太 評議員

会費納入のお願い

会費収入は、貴重な協会の自主財源です。この収入は、協会の自主事業の経費として大切に執行させていただきます。

今回のグリーンアルファに、会費の振込依頼書を同封していますので、今年度の会費の納入をお願いします。

みどりのトラスト運動応援団(募集)

埼玉の優れた自然や貴重な歴史的環境を、県民共有の財産として未永く保全していこうという運動です。みなで、力を合わせてトラスト運動を進めましょう。次のことなどで応援してくれる、個人、団体及び企業を募集していますのでお問い合わせください。

- ・トラスト地の保全作業や事務への参加
- ・金額の多少に係わらず寄付や募金
- ・募金活動や街頭活動に参加
- ・事業の共催及び協力
- ・啓発用グッズの提供及びポスターの掲示
- ・会報誌などでのトラスト協会のPR
- ・社員研修として、清掃や募金活動及び自然体験
- ・協会会員への割引店契約

その他、トラスト協会の応援となること
 問い合わせ先 さいたま緑のトラスト協会
 ○四八 八二四 三六六一

速くて、丁寧、皆様の御要望に幅広くお応えします。

印刷/企画・デザイン・編集・翻訳/出版

関東図書株式会社

〒336-0021 さいたま市南区別所三・一・十
 電話 ○四八(八六二)二九〇(代)